

第2回 新西部水処理センター環境モニタリング委員会

議事概要

■日時：平成24年10月3日（水）13:15～15:30

■会場：福岡市西部地域交流センター（さいとびあ） 第2会議室

■出席：

鬼倉 徳雄	九州大学大学院農学研究院 助教
川口 栄男	九州大学大学院農学研究院 教授
楠田 哲也	九州大学 名誉教授
安井 英斉	北九州市立大学国際環境工学部 教授
山田真知子	福岡女子大学国際文理学部 教授
渡辺 亮一	福岡大学工学部 准教授
(欠席)	
小野 仁	日本野鳥の会福岡支部 代表
下村 通誉	北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員

(行政側出席者)

篠田 好司	道路下水道局 下水道施設部長 (欠席)
崎野 寛	道路下水道局 下水道施設部 施設管理課長 (代理：江崎並人係長)
松田 宏	道路下水道局 下水道施設部 施設整備課長
石田 眞滋	道路下水道局 下水道施設部 水質管理課長
松隈 正憲	道路下水道局 下水道施設部 西部水処理センター所長
工藤 修一	道路下水道局 計画部 下水道計画課長

(順不同、敬称略)

1 開会

2 挨拶 道路下水道部長（代理：施設整備課長）

3 報告事項

(1) 人事異動に伴う行政側出席者の変更について

(2) 新西部水処理センター環境モニタリング委員会傍聴要領について

資料4に基づき、事務局より説明した。

(3) 新西部水処理センター環境監視計画について、

資料5に基づき、事務局より説明。

4 議事

(1) 平成23年度新西部水処理センター環境監視結果（案）について

資料6に基づき、事務局より説明し、以下のような意見が出された。

＜調査・研究：今津干潟の物質収支の把握＞

・河川流量については、独自に実測したデータのほか、各河川を管轄している部署において河川流量を測定しているデータがあれば入手して、結果を併記すること。

- ・河川流量と流入負荷量の関係式を求める際、対数により求めるのではなく、平方根により求めること。
- ・河川流量の実測データにおいて、水位が同じで流量が1~2桁変わるところがあり、河床の地形が変化したなどの可能性があるため、データを再確認すること。

(2) 今津干潟の物質収支モデルを用いたモニタリング評価方法について

資料7に基づき、事務局より説明し、以下のような意見が出された。

- ・今津干潟周辺の物質収支モデルでは、博多湾全域、特に浅海域で優占しているホトトギスガイを代表種としてモデルに組み込んでいることと同様に、優占する種のモデルへの表現を検討すること。
- ・流入負荷量の算定に使用する原単位について、田畑では灌漑期と非灌漑期で原単位を使い分けて使用すること。

5 連絡事項

本日の資料については、公開資料として市のホームページに掲載する。

次回の委員会は平成24年度環境監視結果の報告などを行う。来年度については6、7月を予定している。工事の佳境に入るため、再度見学も行いたいと考えている。

6 閉会

以上